

平成 27 年度（美術科）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	全体への説明から各自の必要とする内容を聞き取れない生徒がいる。	進み方別に、ポイントを説明して個々に理解できるよう確認する。	次の作業を板書し、先の見通しが理解できるようにする。
2 年	アンケート集計の結果から わかりやすく板書・提示している。 生徒の発言や質問をしっかりと聞いている。 の各項目が低かった。 <div> （ とても思う 約 70% ） （ まあまあ思う 約 30% ） </div>	板書は、今日の予定や持ち物など板書している。また、作業する時間を確保するために説明する際にはできるだけ事前にプリントを準備することが多く、板書して説明する機会は少ない。ただし、その説明がわかりづらいと考える。今回の授業改善は作業の説明の際に、テレビ画面を通して手元の映像を映し出ししながら作業の説明をする機会を多くしてみる。 授業中は全員が静かに集中して取り組んでいるため、生徒から質問されることが少ない。現状よりも質問をしやすいするために、毎時間記入している制作ノートの様式を変更し、質問を記入する欄をつくる。制作ノートについては、チェックをして質問に対しての答えを記入し、次の授業の最初に生徒へ返す。（継続）	
3 年	進み方の差が大きく、時間内に仕上がらない生徒がいる。	全体の流れを示し、先の見通しがつくようにする。	作業の早い生徒にはより丁寧な仕上がりになるよう指導する。

1 年 A・B・C・D・E・F・G 組（週 1 時間）担当教員：関澤 A～F(隔週 1 時間) 担当教員：中坪

2 年 A・B・C・E 組（週 1 時間）担当教員：関澤 D 組（週 1 時間）担当教員：中坪

3 年 A～F 組（週 1 時間）担当教員：中坪